

こどものはったつ相談室



子どもたちの健やかな発達や実りある学習に繋がるよう、
通級指導教室「まなびの教室」^{なつめてつや}夏目徹也先生によるコラムを
連載しています。



問合先 こども相談センター

TEL 6 2 6 - 1 1 6 5 FAX 6 2 6 - 2 1 8 7

第8回テーマ「空間認知」

■どんな力？

「空間認知」とは、自分を中心として上下前後左右、距離感が分かる力です。この力は、自分と物だけでなく、自分と相手との距離感にも大きく影響しています。

うまく育っていないと

- 物の扱い方がうまくできず壊したり、こぼしたりする
- ドアや机などにぶつかって痛い思いをしたり、けがをしたりする
- 相手との距離感がわからず、近過ぎたり、けんかになったりする

うまく育つと

- 物の扱い方がうまくできる
- 生活の中で体の動きがスムーズになり、気持ちよく生活できる
- 周りとのコミュニケーションが良好になり、楽しく生活ができる

■生活の中で育てる

①指先合わせ・まねっこ遊びをする。

家族で人差し指の先をくっつけ合う遊び「指先合わせ」。指先を上下前後左右に動かすと楽しいです。また、保護者やきょうだいで「まねっこ遊び」を試みましょう。向かい合って動くことや、同じ方向を向いて動くことを楽しみましょう。

②遊具や道具で楽しく遊ぶ。

手足をたくさん動かして遊ぶジャングルジムなどの遊具やボールなどの道具で遊ぶと、上下前後左右、距離感を感じながら体を動かすことができるようになります。室内で、パズルやブロック遊びも効果的です。パズルの組み合わせ方やブロックで車や家などを作る過程では、上下前後左右を意識するようになります。

すぐにうまくできるようにならないかもしれませんが、繰り返し活動していくことで、少しずつ育っていくと思います。

■通級指導教室の教材

空間認知を育てるために、通級指導教室で行っている教材を紹介します。是非参考にしてください。

①パズル

市販のパズルは、比較的簡単なパズルから大人でも難しいパズルまでとても多くの種類があります。平面から立体へとなるにつれ、空間認知の力が必要です。パズルが完成した時、子どもの顔は、達成感に満ちています。



②輪投げ

昔からある遊びの一つです。一本の棒に向かって輪を投げて入れるというシンプルな遊びです。輪の大きさや棒までの距離を変えることで遊びが広がります。



教材・教具は、これでなければ効果がないということはありません。育てたい力を伸ばすには、いろいろな物を使えばいいのです。大切なことは、どのような活動であっても、子どもが楽しく取り組めることです。